



# 松原かわら版

世帯数 1,190 戸  
人口 3,026 人  
(平成 29.7.1 現在)

## 第57回全日本 花いっぱい松本大会開催

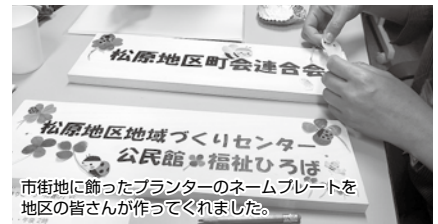
6月17日(土)梅雨入りしたとは思えない晴天の中、まつもと市民芸術館において、「全日本花いっぱい松本大会」が開催されました。松本駅お城口の広場には大きな10本のペコニアの赤と白の花を球状にしたモニュメントが設置されて、各地方から大会へ参加される皆様へ心から歓迎をしている様に見えました。駅から芸術館までの駅前通りの沿道は、スタンディングバスケットやコンテナに色とりどりの花が綺麗に植えられていました。松本地区の小学校と中学校の児童、生徒さんが木製のプランターに花を植え、学校名の下に皆様の花への心のこもったメッセージが書かれていました。

今回、全国大会の松本開催は10年ぶりで、全国から花いっぱい運動に取り組む民間団体関係者やボランティアの方々や松本市の各町会関係者で、約千四百名が参加し、開催されました。オープニングビデオの後、松本交響楽団による「花いっぱい」の演奏があり、実行委員会会長の菅谷市長の挨拶で始まり

ました。ご来賓の皆様を代表して務台衆議院議員、前回開催都市であった静岡市の田辺市長よりご祝辞を頂戴しました。その後、全日本花いっぱい連盟から活動に功績のあった方々とコンクールで入賞された方々の表彰が行われました。次にエクセラ高等学校の生徒さん代表と空港東町会の方から、花いっぱい運動の活動事例の発表が行われました。続いて松本ユース平和ネットワークまつもと子ども未来委員会の代表により大会宣言がされました。次期開催市、尾道市の平谷市長へ菅谷市長から大会旗のリレーが行われました。エンディングアトラクションはSK松本ジュニア合唱団による「花いっぱい」の歌が合唱されて盛大に開催された大会が終了しました。

その後、あがたの森公園へ移動して、松本アルプスホルンクラブによる演奏の中、公園内の「平和の誓いの像」横の土手に細葉泰山木と紅花柄の木が植樹されて、花いっぱい松本大会の行事が終了しました。この大会を通じて花いっぱい運動の再認識がされました。

(編集委員)



# 松原 花いっぱい

## ガーデニング講座

5月23日・6月6日

夏に向かって咲く花や観葉植物など、思い思いの寄せ植えが出来上がりました。一つとして同じ物はありません！皆さん嬉しそうに持ち帰りました。

花のある暮らしは、心に潤いを与えてくれます。

(編集委員)

## 松原から2名受賞

花いっぱい松本大会併催イベントとして「ハンギングバスケット・コンテナガーデニング」が開催され、松原地区からお2人が受賞されました。

街を花いっぱいにする会長賞

日本種苗協会長野県支部長賞

： 南山きみ子さん  
： 植澤洋子さん



松本市ではお庭を紹介する「松本オーブンガーデニングガイド」を発行しています。ガイドを片手にぜひ、市内のお庭を巡ってみたいかがでしうか。



## 近所のお庭

地区内にも時計台を始め、こだわりのお庭がたくさんあります。

# 第8回町会対抗 ニユースポーツ大会

6月25日、第8回町会対抗ニユースポーツ大会が開催されました。当日はあいにくの雨でマレットゴルフは中止となりましたが、内田体育館では、ソフトバレーボールと新卓球の2種目の試合、午後の親睦会と大いに盛り上がりました。

開催にあたり、体協では経験者と初心者との差が議論となりました。町会による偏りも見られる「手加減」がなくなってしまうといった意見も出ました。最終的には、卓球をクラス分けすること、そして何よりこの大会は親睦が目的で、1人でも多くの方に参加いただけるよう来年度もさらに工夫していくことになりました。

## 【大会結果】

総合

優勝：第1・第7町会 ☆

3位：第3・第5町会 ☆

5位：第2・第4町会 ☆

7位：第6町会 ☆

## ソフトバレーボール

優勝：第1町会 ☆

準優勝：第7町会 ☆

## 新卓球(ラリーボール)



優勝：第3町会  
準優勝：第7町会  
参加された皆さん、そして運営いただいた体協の皆さんお疲れさまでした。



午後の懇親会

体協の皆さん

## 不用食器回収 省エネ・エコの会

松原で不用食器回収を始めて5年目になりました。もったいないと思いつつながら埋め立てゴミとして出していた食器を何とかできないかと思つたことが活動のきっかけです。

不用になったり、壊れてしまった陶磁器は、細かく粉砕して粘土と混ぜることで、再生食器として生まれ変わる材料となります。再生食器の材料となる不用食器を集めるのが、不用食器回収です。



再生食器としてリサイクルする事は、粘土の枯渇化、埋め立て地問題に大いに役立っています。リサイクルするためにはエネルギーを使い、手間と時間をかけなければなりません。

そこで「不用食器回収」当日と「いづら祭」の時に「もつたいない市」を開催し、リユース(再利用)のコーナーを設けています。食器を再生食器にする前に、もう一度使っていたかどうかと作ったコーナーです。一度手に取ってみてください。きっとお気に入りが見つかると思います。

リユースできるものは、食器だけではなく身の回りに沢山あると思います。ゴミとして出してしまうの前に「ちよつと待って！」何かに活かせるかもしれない。そのためにも食器だけではなく広い目をもって活動しなければなりません。

只今、仲間を募集中！

## 松原ウォーク(7月2日)

地区健康づくり推進員の皆さんが主催するウォークラリーで、子どもからお年寄りまで約30名が参加し、ゴールした参加者にはうれしい景品も配られました。地区内でも普段歩くことのない場所を巡り、新たな発見もあったようです。



## ふれあい会食会(7月6日)

地区社会福祉協議会が主催し、83名が参加しました。ふれあい健康教室のあとは、食生活改善推進員・婦人部の皆さんが作ってくれた料理で会食会を楽しみました。食事の後は、ハーモニカとウクレレの2人組による演奏とトークで会場が盛り上がりました。



## コラム 北の旅人

私の主人は35年愛煙家でしたが、5カ月前、突然「タバコをやめる！」と宣言しました。私はまた「どうせ無理だろう」と思い「がんばってね」と心のこもらない激励をしました。

主人は禁煙外来に通い、とうとう3カ月間一度もタバコを吸うこともなく、病院から禁煙3カ月達成という表彰状をいただけてきました。今まで家族が何度も「タバコやめて！」とお願いしてもやめなかったのに。

私は逆に心配になってしまいました。病院の先生から何かの病気だと言われて、私に隠しているのでは？と。主人に「何でタバコやめたの？」と聞いてみたら、人間ドックを受けて医師のお話を聞いて「残りの人生、今度は生かされて生きる。」と自分自身で思ったからだそうです。

私はその話を聞いて、主人が病気でないことがわかり、タバコをやめたきっかけも人間ドックを受けたからだだと知り、本当にうれしかったです。残りの人生、夫婦仲良く長生きして孫が見られたら、こんな楽しい人生はないと思います。

(編集委員)